# 次代を担う「人」の育成と「地域」の価値創造に全力を尽くす

日本航空社長
鳥取三津子（とっとり　みつこ）

今、わが国を取り巻く環境は、世界の地政学的リスクの高まりや、その顕在化としての紛争等、大きな不確実性を抱える時代に突入している。また国内に目を転じても少子高齢化や急速な人口減少、それに伴う地域間格差の拡大、激甚化する自然災害等、社会課題は枚挙にいとまがない。こうした歴史的転換期とも言える中、先を見据えた日本経済の基盤構築は、産業界に課せられた極めて重要な責務である。

このような中で私は2点注目している。

一つ目は次世代の育成についてである。多様な価値観を持つ一人ひとりが能力を最大限に発揮できるようなウェルビーイングな世界の実現に向けて、若者によりグローバルな視点を持っていただきたい。自分を磨くために海外へ渡航する機会を持ち、国際感覚を身に付けてほしいと願う。異なる文化や価値観の中で自身を磨くことで、世界を舞台に活躍できる〝強さ〟と〝しなやかさ〟を身に付けることができ、日本の強みがより一層発揮されると信じている。意欲ある若者が研さんを積めるよう、官民が一体となり後押しする仕組みを構築したい。

次に、地域社会の活性化についてである。日本の各地域には、世界に誇るべきその土地ならではの歴史、文化、自然といったユニークな資源が豊富に存在する。これら固有の価値を国内資源のみならずグローバルなアセットとしても再発見・活用し、地域社会と共に成長を遂げることで、サステイナブルな未来への道が広がる。先に述べた国際社会で活躍する人財が日本の経済を循環させる「関係人口」を国内外に拡大させ、さらには各地域でのデジタル技術の活用拡大、イノベーション推進により地域経済の価値創造を加速させたい。

このたび審議員会副議長という重責を仰せつかり、その使命の大きさに、改めて身の引き締まる思いを抱いている。会員企業や関係する皆さまと緊密に協力しながら、社会を変革する原動力となる「人」と「地域」への貢献、産業界全体の発展、ひいては日本全体の持続的な成長に全力を尽くす所存である。